社会の要請に応える企業の礎

社会の発展を願った 創業者の思いを原点にして



/1911年 鉄道が陸運の重要な輸送 手段となり近代化を加速



国産化第1号蒸気機関車

高速移動により 生活に新たな価値を提供

/1964年



0系新幹線

/1972年 高度メカニズムで ライダーに走る喜びを届ける ヘリコプタを開発



/1979年

マーケットニーズに応える

ヘリコプタ[BK117]

/1991年 英仏をつなぐ



英仏海峡海底鉄道トンネル向け トンネル掘削機

/2020年 手術支援ロボットの 製造販売承認を取得



手術支援ロボット「hinotorii サージカルロボットシステム」 (株式会社メディカロイド)

/1878年 海運がわが国の 産業・生活を変える

創業者 川崎正蔵 1878年東京・築地に川崎重工の起源となる 川崎築地造船所を開設



/1922年 新たな輸送手段として 日本の"空"を切り拓く



/1969年 産業用ロボットの導入で 現場作業の生産性を向上



産業用ロボット 「川崎ユニメート2000」

/1976年

日本の産業用ガスタービン 分野を切り拓く



ガスタービン発電設備 「PU200」

モーターサイクル 「カワサキ900スーパー4」

/1981年 新しいエネルギーを 大量に安定して運ぶ



/2007年 エネルギーの有効利用と



カワサキグリーンガスエンジン

/2022年

液化水素の海上輸送・荷役 実証試験を完遂

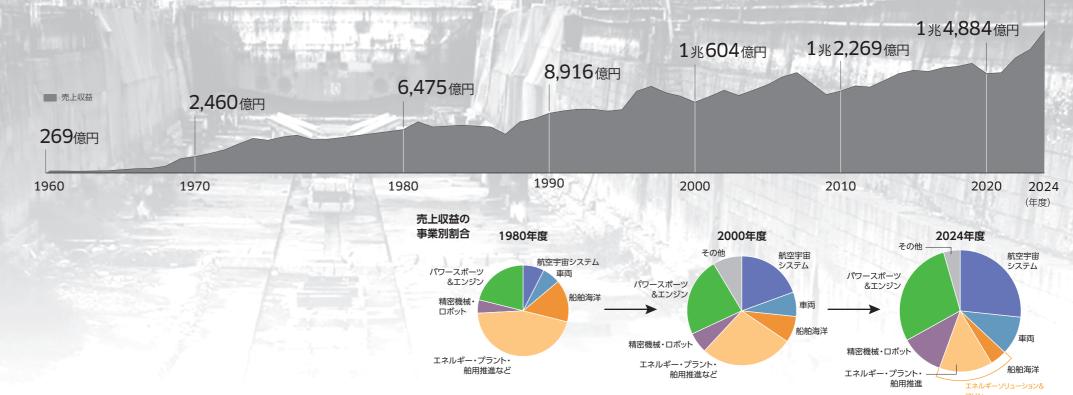


液化水素運搬船 「すいそ ふろんていあ」

2兆1,293億円

そのわざを通じて 国家社会に奉仕する

川崎重工グループの創業者 川崎正蔵は「技術を通じて国家 と社会の発展に貢献したい」という思いをもとに、1878年、 東京・築地に川崎築地造船所を開設。1896年にはさらに 発展して、株式会社川崎造船所を設立しました。川崎重工 グループは、以来、125年以上にわたり、陸・海・空のモビリティ からロボットまで、幅広い領域で最先端の技術に挑み続け、 社会の要請に応える製品を世の中に送り出しています。



背景写真:1902年完成 乾ドック(神戸工場 第1ドック)